



小田原藩大久保家初代忠世・忠隣の足跡

資料1, 2は三津木國輝「大久保忠世・忠隣」に基づき作成した

小田原史談会
酒匂川治水四百年を
考える小田原・足柄住民の集い
H22年1月23日



忠隣、没す
1628 (寛永 5)



忠隣、終焉の地 龍潭寺((滋賀県彦根市)

忠隣、改易され、近江に配流
1614 (慶長 19)

忠隣、徳川秀忠と共に
真田昌幸・幸村に奮戦、しかし
関ヶ原の戦いに参加出来ず
1600年 (慶長 5)



忠世、小田原城中で没。忠隣、父
の遺贈を相続し羽生城と併せて6
万5千石に。
1594年 (文祿 3)

忠隣、秀忠の傳となり、年寄職となる
1593 (文祿 2)

小田原合戦の功により
忠世、小田原城 4万5千石
忠隣、武蔵羽生城 2万石
を与えられる
1590年 (天正 18)



大久保家菩提寺 教学院
(東京都世田谷区)

家康長子信康、信長の命に
より二侯城 (城主忠世) で、自刃
1579年 (天正 7)

二侯城 (現浜松市天竜区) 攻略
の功により忠世、二侯城主となる
1575年 (天正 3)



忠世、長篠の戦いで奮戦
1575年 (天正 3)



武田勝頼

忠世、三方ヶ原の合戦で
武田と戦う
1572年 (元亀 3)

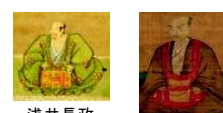


武田信玄

大久保家菩提寺 長福寺
(愛知県豊川市)



姉川の合戦で
忠世・忠隣、戦功を
あげる
1570年 (元亀 元)



浅井長政 朝倉義影

忠世、山中城攻めに参加
1548年 (天文 17)



山中城址 (現岡崎市舞木町)

スタート
大久保忠世1532年 (天文元)
忠隣1553年 (天文22年)
この地に生まれる



大久保氏一族発祥の地碑がある
比蘇天神社 (岡崎市上和田町)

大久保家墓所
高野山



大久保家菩提寺 本禅寺
(京都市上京区)



大久保家菩提寺 本禅寺
(京都市上京区)

